

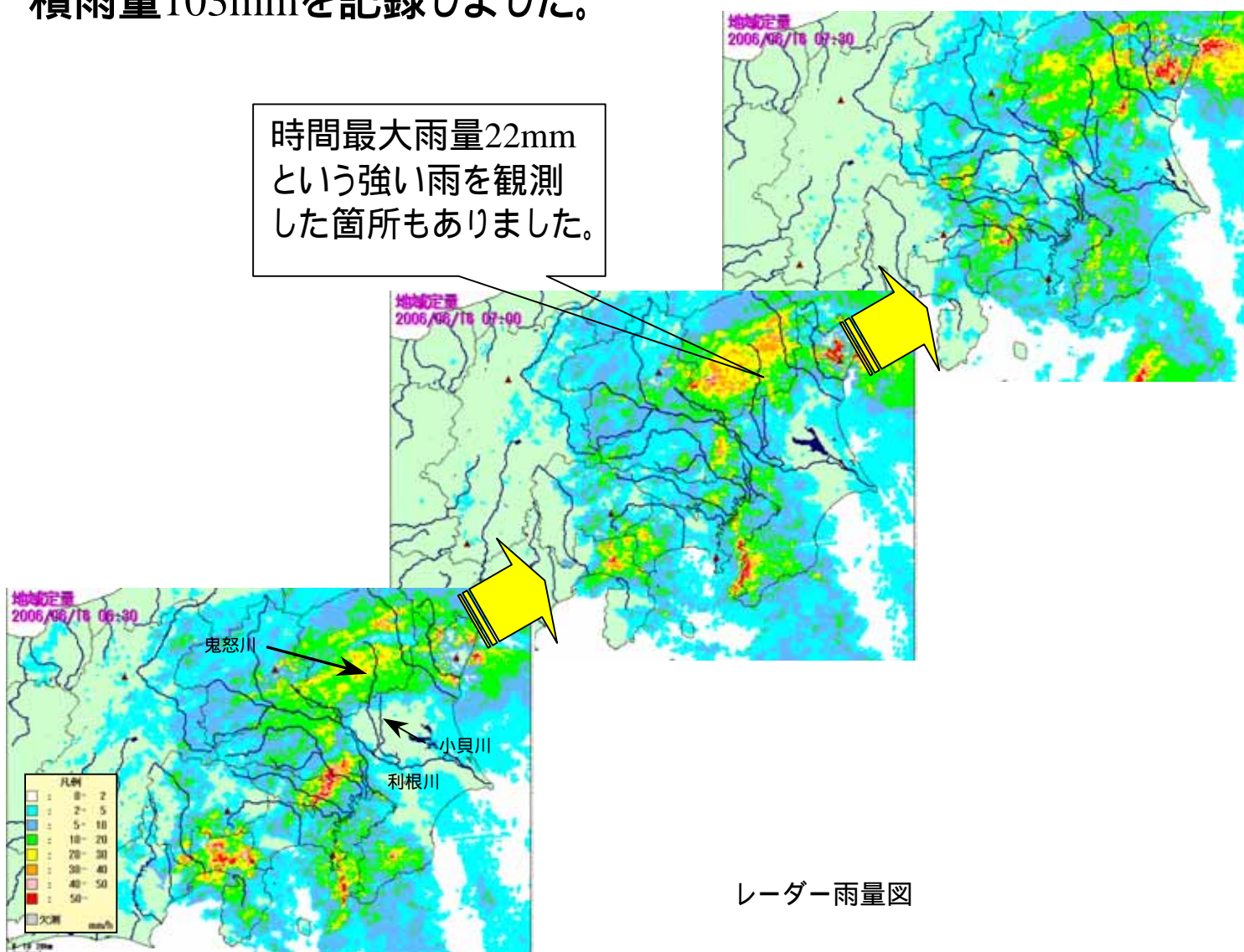
# 平成18年6月16日梅雨前線による出水(速報)

## 気象概要

前線の影響で紀伊半島付近に発生した低気圧が東に移動するのに伴い、16日朝から関東地方を中心に各地で大雨となりました。

鬼怒川・小貝川流域においても、前線を伴った低気圧の影響による雨が15日夕方から降り始め、低気圧が接近した16日朝方には、強い雨となり、鬼怒川上流の大中雨量観測所で累積雨量123mm、小貝川上流の祖母井雨量観測所で累積雨量103mmを記録しました。

時間最大雨量22mm  
という強い雨を観測  
した箇所もありました。



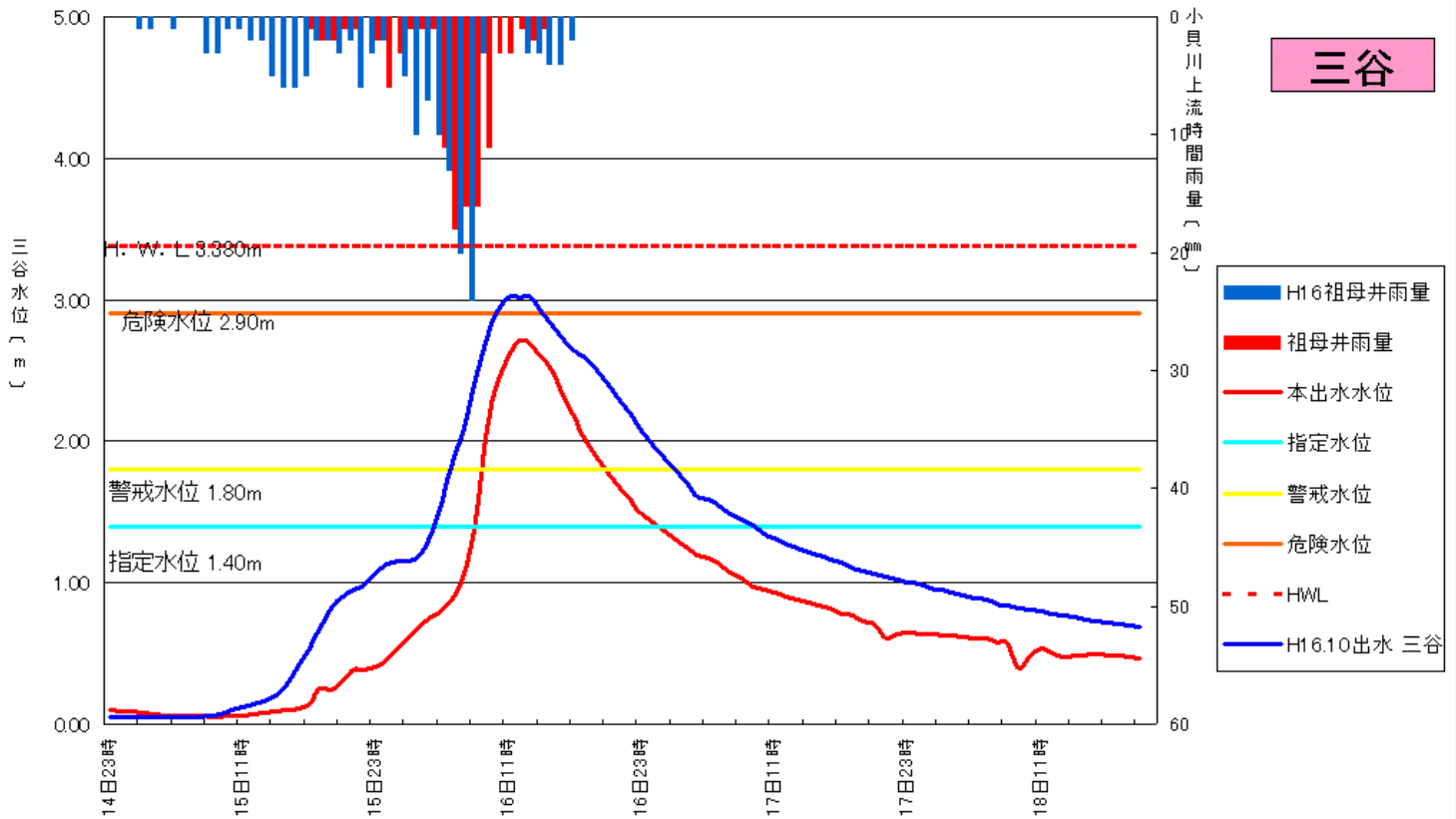
# 水位状況

今回の前線豪雨により、鬼怒川・小貝川で下表に示す通り、平常時と比べて著しく水位が上昇しました。小貝川においては、上流の三谷と黒子基準観測所で、危険水位にせまる出水となりました。 速報値

観測所	鬼怒川				小貝川			
	佐貫	石井	川島	水海道	三谷	黒子	上郷	水海道
指定水位 (m)	1.50	1.00	0.00	1.50	1.40	2.50	3.00	3.80
警戒水位 (m)	2.30	1.50	1.10	3.50	1.80	3.80	3.60	4.60
危険水位 (m)	3.70	2.70	3.10	5.30	2.90	5.00	5.20	5.90
本出水 最高水位 (m)	-0.51	-0.05	-0.59	0.23	2.71	4.83	3.95	4.89
指定水位 継続時間 (h)	-	-	-	-	6	13	9	15
警戒水位 継続時間 (h)	-	-	-	-	11	14	11	11



三谷観測所 (栃木県二宮町)



# 過去の出水との比較

前線を伴った低気圧により、鬼怒川・小貝川では大幅に水位が上昇しました。特に小貝川では、過去20年間の台風等による最高水位と比較すると三谷地点では4番目、黒子地点では10番目の高水位となっており、大規模な出水であった事が視えます。

順位	三谷観測所		
	出水名	祖母井 累加雨量 (mm)	最高水位 (m)
1	昭和61年8月 台風10号	302	3.78
2	平成16年10月 台風23号	165	3.02
3	平成11年7月 前線豪雨	216	2.95
4	平成18年6月 前線豪雨	103	2.71
5	平成12年7月 台風3号	216	2.67
6	平成5年8月 台風11号	117	2.64
7	平成3年9月 台風18号	190	2.61
8	平成10年9月 台風5号	180	2.61
9	平成13年10月 前線豪雨	150	2.43
10	平成14年7月 台風6号	138	2.41

順位	黒子観測所		
	出水名	下館 累加雨量 (mm)	最高水位 (m)
1	昭和61年8月 台風10号	381	6.86
2	平成5年8月 台風11号	139	5.80
3	平成11年7月 前線豪雨	129	5.71
4	平成3年9月 台風18号	167	5.68
5	平成16年10月 台風23号	189	5.53
6	平成12年7月 台風3号	121	5.15
7	平成10年9月 台風5号	92	5.14
8	平成9年5月 前線豪雨	103	5.05
9	平成14年7月 台風6号	88	5.04
10	平成18年6月 前線豪雨	65	4.83

# 排水機場による効果

今回の出水では、排水機場の稼働により、支川水位の上昇を抑制し、水害の防止に効果を発揮しました。排水機場による排水量は、210万m<sup>3</sup>以上(高さ1.5m、幅15mの25mプール約3,800杯)に及びました。

## 排水機場の稼働状況

施設名	運転時間(h)	累積排水量(m <sup>3</sup> )	25mプール換算(杯)
川神馬排水機場	1	約 1,700	3
高木川排水機場	30	約 410,000	720
糸繰川排水機場	20	約 480,000	860
伊丹排水機場	50	約 1,210,000	2,150
成田樋管ポンプ設備	7	約 13,000	22
合計	108	約 2,110,000	3,755

# 出水時の状況



小貝川75.9k付近 君島堰  
(真岡市須釜地先)



小貝川71.5k付近 三谷橋上流から  
(二宮町高田地先)



小貝川67.8k付近 八田堰  
(筑西市小栗地先)



小貝川60.6k付近 村田堰  
(筑西市茂田地先)



小貝川59.5k付近 深見橋  
(筑西市本田地先)



小貝川53.5k付近 黒子橋  
(筑西市西保末地先)